

## 第四次循環型社会形成推進基本計画策定に向けた 先進的な取組に関するヒアリングについて

平成 29 年 5 月 17 日  
中央環境審議会循環型社会部会事務局

第 3 次循環型社会形成推進基本計画の第 3 回点検結果及び平成 29 年 3 月 29 日に開催された循環型社会部会（懇談会）における議論を踏まえ、4 回、各回 2 ～ 4 名よりヒアリングを行う。

各回において、第 3 回点検結果において示された今後の方向性に沿ったテーマを設定し、当該テーマに関して先進的な取組を行っている自治体、企業、NGO 等をヒアリング対象者とする。ヒアリング対象者より各回で設定したテーマを中心に先進的な取組の背景、内容、今後に向けた課題等についてご説明いただく。なお、ヒアリング対象者が設定されたテーマ以外で行っている先進的な取組に関しても簡潔にご紹介いただくこととする。

各回で設定したテーマに関連する国の取組がある場合には、事務局より簡潔に紹介する。

全ての回を通じて、循環型社会の形成という観点だけではなく、「低炭素社会、自然共生社会など持続可能な社会づくりとの統合的取組」という観点での先進性についてもヒアリング対象者よりご紹介いただく。また、全ての回を通じて、先進的な取組を進める上で必要となる制度、情報、技術、人材等についてヒアリング対象者よりご紹介いただく。

### 第 1 回ヒアリング

#### 1) 日時

平成 29 年 5 月 17 日（水）10 時～13 時

#### 2) テーマ

多種多様な地域循環共生圏形成による地域活性化

#### 3) ヒアリング対象者及びご紹介いただく主な取組

<京都市：発表時間 15 分>

- ・ごみ半減プラン、観光地対策（イベント等のエコ化推進）などの 2 R 対策
- ・ 3 キリ運動・食べ残しゼロ推進店舗認定制度など食品ロス対策
- ・ バイオガス発電、バイオプラごみ袋の導入試行などの廃棄物分野における温暖化対策

- ・高齢者等に配慮した一般廃棄物の収集

<武蔵野市：発表時間 15分>

- ・地域のエネルギー拠点、防災拠点となる廃棄物処理施設
- ・中小規模の廃棄物処理施設における高効率なエネルギー回収
- ・高齢者等に配慮した一般廃棄物の収集

<葛巻町：発表時間 15分>

- ・ごみ分別の細分化と資源化
- ・畜産ふん尿、生ごみのメタンガス化による電熱利用、消化液の液肥利用
- ・バイオマスエネルギーを含めたクリーンエネルギーによるエネルギー自給率向上と地域活性化

<株式会社アミタ持続可能経済研究所：発表時間 15分>

- ・資源循環の仕組みづくり支援の事例、地域におけるエネルギーの地産地消

4) 関連する国の取組：発表時間 15分

- 地域循環圏について
- 一般廃棄物処理における地球温暖化対策の推進
- 高齢化社会に対応した廃棄物処理のあり方

**第2回ヒアリング**

1) 日時

平成 29 年 6 月 1 日（木）10 時～13 時

2) テーマ

- ライフサイクル全体での徹底的な資源循環（特に上流側や 2 R に関する取組）

3) ヒアリング対象者及びご紹介いただく主な取組

<株式会社エアークローゼット：発表時間 15分>

- スタイリストが選んだ服を定額でレンタルするビジネスの現状と課題
- 既存業界であるアパレルメーカーと連携したシェアリングエコノミー追及の方向性
- エアークローゼットの展開による廃棄物やCO<sub>2</sub>の削減効果

<特定非営利活動法人中部リサイクル運動市民の会：発表時間 15分>

- リユース品の回収拠点、販売拠点の運営

- フードドライブ
- 環境学習
- 行政・企業とのパートナーシップ

＜株式会社リコー：発表時間 15分＞

- 複合機等の製品のリユース、部品のリユース、マテリアルリサイクルなどコメントサークルと呼ぶ重層的な資源循環を促進
- 中長期の環境負荷削減目標を策定
  - CO<sub>2</sub>：2050年までに87.5%減、2020年までに30%減（2000年度比）
  - 新規投入資源量：2050年までに87.5%減、2020年までに25%減（2007年度比）
  - 枯渇リスクの高い原油、銅、クロム等：2050年をめどに削減及び代替準備完了

＜株式会社竹中工務店：発表時間 15分＞

- 3Dモデルを用いた設計による使用材料の加工の効率化、プレカットによる現場での廃棄物削減
- 資材の簡易包装、リユース容器の使用
- 解体後の資材のリユース
- 建設リサイクルの取組

4) 関連する国の取組：発表時間 15分

- 2R推進対策
- プラスチック等の素材別の取組
- など

### 第3回ヒアリング

1) 日時

平成29年6月6日（火）15時～17時

2) テーマ

- 適正な国際資源循環体制の構築

3) ヒアリング対象者及びご紹介いただく主な取組

＜北九州市：発表時間 15分＞

- 循環産業の国際展開
- エコタウン事業

<DOWAエコシステム株式会社：発表時間15分>

- 循環産業の国際展開
- 廃電子基板等の輸入

<一般社団法人日本環境衛生施設工業会：発表時間15分>

- 廃棄物処理・リサイクル施設の国際展開
- 廃棄物処理・リサイクルの施設・技術

4) 関連する国の取組：発表時間15分

- 循環産業の国際展開  
など

#### 第4回ヒアリング

1) 日時

平成29年6月22日（木）13時～16時

2) テーマ

- 万全な災害廃棄物処理体制の構築
- 適正処理の更なる推進

3) ヒアリング対象者及びご紹介いただく主な取組

- <東京農工大学農学部環境資源科学科 高田秀重教授：発表時間15分>
- 海洋ごみに関する国内外の最新動向

<熊本県：発表時間15分>

- 熊本地震対応

<三重県：発表時間15分>

- 不法投棄・不適正事案に関する対応
- 民間事業者等と連携した監視
- 市町村と連携した災害廃棄物処理計画策定、民間事業者との連携体制の構築

<株式会社富山環境整備：発表時間15分>

- 日本災害対応システムズとしての活動
- 容器包装リサイクル法に基づく選別、処理
- 低濃度PCB処理
- 廃棄物処理施設の廃熱、発電を用いた農業

4) 関連する国の取組：発表時間 15分

○海洋ごみ対策

○災害廃棄物対策

○産業廃棄物処理業の振興

○不法投棄対策

○PCB処理

など